

向島まちづくりビジョン平成30年度第4回推進会議が開催されました



2月18日(月)午前、向島学生センターセミナーハウスにて、傍聴者含め、約60名が出席し、第4回推進会議が開催されました。



主な議題の1つとして、向島二の丸小学校跡地の活用について提案いただいているあしなが育英会から工藤氏、岡崎氏他が出席し、新たな教育施設の構想につ

てさらに具体的にお話を伺いました。構想の施設には「地域の方々との交流も重視し、利用いただける場所をつくること」や「施設に入居するアフリカの学生や日本の奨学生

と地域住民や子どもたちとの交流の機会づくりを積極的に行っていくこと」などを想定していること、また、「将来的にアフリカの母国で活躍できる国際的な人材の育成」を目指すことなど質疑応答を交えながら、お聞きしました。

最後に、推進会議として、今後も引き続き、ワーキンググループなどで、地域・住民の意見を聞きながら、あしなが育英会との話し合いを進めていくことを確認しました。

また、向島第4・5駐車場用地を活用した(株)ニトリ向島ニュータウン店(仮称)の出店に向けた説明会開催予定と、開店時期の延期(12月頃)についてニトリの担当者から報告がありました。

他、各ワーキンググループでの取組について住民のリーダーや参加メンバーから進捗状況について報告があり、最後に来年度の推進体制、スケジュール等について確認しました。

「拡大合同ワーキンググループ会議」が開催されました



3月17日(日)午後、約50名が向島学生センターセミナーハウスに集まり、まちづくりビジョンの取組期間(4年間)の中

間点の今、これまでの2年間の取組で向島がどのように変わってきたのか「私」目線で感じていること、次の2年間に取り組みたいことを話し合いました。

また、「あしなが育英会」からの参加もあり、「向島二の丸小学校跡地を活用した新たな国際的な教育施設」の説明を聞き、地域との交流・連携についても話し合いました。

出された意見(一部)

これまでの2年間で良かったこと・進んだことは？

- ・活動を通じて、知り合いや一緒に活動する仲間が増えた。5学区での交流の機会が増え、活動が広がった。
- ・中央公園が綺麗になった。小中一貫教育校の開校、ニトリの開業(予定)など、目に見えてまちが変わりつつある。

これからの2年間で頑張っていきたいこと・やりたいことは？

- ・子どもの居場所づくりや食・学習支援の取組が広がってきた。次は親世代とつながり、参加を広げたい。
- ・まだまだ足りないコミュニティの拠点づくりを進めたい。

「新たな国際的な教育施設」や地域との交流・連携について

- ・向島が多文化共生のまちとして発展していくことにつながると思う。
- ・施設の食堂を地域に開放し、アフリカの食文化に触れ、交流する場所になると良い。
- ・(地域の提案に対してあしなが育英会から)災害時の避難場所としての施設となることも計画している。

取組ワーキンググループ 今後の会合予定

暮らし安心	4月20日(土) 13:00~15:00	向島学生センター セミナーハウス
住環境・防犯	4月23日(火) 19:00~	京都文教マイタウン向島 (MJ)
子ども・若者支援	5月11日(土) 10:00~12:00	向島学生センター セミナーハウス

魅力発信・観光・商業地賑わい、防災については4月以降開催予定

※開催予定は各街区・各棟の掲示板、京都文教マイタウン向島(MJ)に定期的に掲示してお知らせしています。その他、京都市ホームページにも掲載しています。

来年度の主な予定

2019年 (平成31年)	4月	・推進会議：新年度体制決定 (地域代表等委員の交代等) ・平成31年度第1回推進会議 ・地域団体活動ステップアップ サポート事業 募集開始予定
	7月	・平成31年度第2回推進会議
	9月	・向島二ノ丸学区及び向島藤ノ木学区 でのビジョン中間報告会(仮称)開催
	11月	・平成31年度第3回推進会議
2020年	2月	・平成31年度第4回推進会議

4月~随時
向島中学校跡地の
暫定利用に向けた
検討整備・活用
(利用開始時期未定)

発行：向島まちづくりビジョン推進会議

■事務局・問い合わせ先

京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：池田、齋藤、片山

電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689

メール：toshisomu@city.kyoto.lg.jp

向島の魅力情報・まちづくり情報は

向島まちづくり情報発信ポータルサイト

向島まつり

検索



～向島ニュータウン再生・向島地域の活性化～
「人の力で、まちはかえられる」

向島まちづくり通信 第14号

平成31年3月28日発行

中文版、请在下面的网址。<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

「(仮称)ニトリ向島ニュータウン店」12月オープンめざす 一大規模小売店舗立地法に基づく「地元説明会」が行われましたー

「(仮称)ニトリ向島ニュータウン店」の大規模小売店舗立地法に基づく「地元説明会」が、2月26日(火)午後7時から向島学生センターセミナーハウスで行われました。

(株)ニトリの担当者からは、「『(仮称)ニトリ向島ニュータウン店』は、8月上旬のオープンを計画していましたが、鉄材など建築資材の確保が容易でなく、12月のオープンを目指すことになりました。建設工事は5月に開始、6月から本格的な工事になります。」との説明がありました。

「ニトリ」としては標準的な規模の店舗に

店舗は2階建て、店舗面積は合計5,093㎡。主要販売品目は家具・インテリア用品・その他で、「ニトリ」の店舗としては標準的な規模になります。

駐車場の収容台数は150台(別途、従業員用8台)、駐輪場の収容台数は26台。現在別棟のテナントとして、憩いの場を提供できるような飲食店を募集しており、この飲食店用の駐輪場も確保します。

店舗の開店及び閉店時間は、午前9時00分～午後9時00分、駐車場を利用できる時間帯は午前8時30分～午後9時30分を予定しています。

さらに、「向島の中心商業ゾーン活性化に係る地元からの要望には誠意を持って対応する」「向島センター地区の賑わい創出を目的とした改修や整備に係る計画の策定にあたっては積極的に協力し、地域に根ざした施設運営活動への参加を目指す」などの説明がありました。



(株)ニトリが2月26日行った「地元説明会」

(仮称)ニトリ向島ニュータウン店 建物平面・立面図



住民の皆さんの質問と回答

(株)ニトリの説明について、出席した住民の皆さんから質問があり、次のような回答がありました。

- ①店内の通路は広くとっており、車イスでも移動しやすい設計になっている。
- ②スーパー「KINSHO」駐車場出入口につながる道路に面したニトリ店の出入口については渋滞などが起きないように対策を行いたい。
- ③従業員の8割ほどがパートとなる。パートの採用に当たっては地元の方を優先して採用し、向島地域の雇用を増やす機会にしたい。

「まちづくりセミナー 公営住宅等を活用した 多様性のあるコミュニティづくり」が開催されました

2月17日(日)「まちづくりセミナー 公営住宅等を活用した多様性のあるコミュニティづくり」(共催:向島まちづくりビジョン推進会議暮らし安心ワーキング、京都文教大学地域協働研究教育センター)が、向島学生センターセミナーハウスで行われました。

はじめに、札幌市立大学の山田信博准教授が「公営住宅団地の空き住戸を活用した地域支援活動拠点の実態」と題して講演。大阪府、大阪市、神戸市などで行われている公営住宅の空き住戸などを活用した取組についての具体例が紹介されました。

泉北ニュータウンの「ほっとけないネットワーク」

大阪府堺市の泉北ニュータウンの槇塚台では、自治会、NPO法人、福祉機関、大学、行政の連携により「泉北ほっとけないネットワーク」が2010年9月に立ち上げられ、高齢者が500メートル圏内で生活を支えるサービスが受けられるまちづくりをめざしています。

府営住宅の空き住戸を改修した高齢者生活支援住宅や、空き店舗を活用したコミュニティ・レストランを開設。このレストランは、食事を提供するだけでなく配食サービスも行い、最近では居酒屋をはじめました。毎週土曜日には、レストラン前で「朝市」が行われています。大阪府や大阪市では、他にも府営住宅や市営住宅の空き住戸を活用した認知症や障がい者のためのグループホームや子育て支援、地域住民支援なども行われています。神戸市でも、市営住宅の空き住戸を活用した知的障がい者のグループホームなどが行われています。



▲2月17日(日)開催された「まちづくりセミナー」

向島でも空き住戸や学校跡地の活用を

講演のあと、シンポジウムと、高齢者福祉施設などの事業者も参加した「向島ニュータウンの公営住宅の空き家活用に関する交流会」が行われました。

セミナーに向けて事前に行われたアンケートでは、8割を超える事業者が、興味を示している一方、地域の方の理解や使用の際の条件が明らかでない等の課題もあることが紹介されました。交流会でも、空き住戸や「向島秀蓮小中学校」の開校に伴う、学校跡地を利用した、高齢者向けの事業や子どもたちの居場所づくりへの活用など、多様な意見が出されました。

向島南小学校で、恒例の「とんど」が行われました

1月13日(日)朝7時から向島南小学校の校庭で、恒例の「とんど」が行われました。

「とんど」とは小正月(こしょうがつ=1月15日)の行事で、正月の松飾り・しめなわ・書き初めなどを家々から持



▲1月13日(日)向島南小学校校庭で行われた「とんど」

ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、火祭り行事です。

この日、校庭の真ん中に中島町の青年会の皆さんが刈ってきた長い竹やヨシなどで大きなやぐらが組まれ、家々から持ち寄られた正月飾りや書き初めなどが飾り付けられました。向島南小学校が4月から閉校になることもあり、子どもから高齢者まで多くの人たちが集まり「とんど」を見守りました。向島南小学校たいこクラブの演奏などが行われたあと点火されると瞬間に、火が高く上がりました。「とんど」で焼かれた芋などを食べると病気になると言われており、焼き芋がふるまわれました。この行事は、向島南小PTAが中心になって2001年から向島南小校庭で行われてきました。

PTA会長の富田さんは、「『とんど』をぜひ続けていきたい。4月から開校する『向島秀蓮小中学校』の関係者と相談していきたい」と話していました。

近鉄バス「竹田行」路線の運行改善の取組について

向島地域の公共交通機関である近鉄バスの利便性向上を図るため、2016年4月から向島まちづくりビジョン推進会議「住環境・防犯ワーキング」などで検討を重ね、2017年12月に近鉄バスへ「要望書」を提出しましたが、実現には至っていません。そのため、向島5学区の市政協力委員連絡協議会会長会議の協力を得て、次の内容の「要望書」をまとめ、昨年12月5日付で、近鉄バスに提出しました。

一つ目は、伏見区役所や大手筋商店街へのアクセス向上を図るため、24号線経由の「竹田行」路線を中書島経由「竹田行」に変更すること。二つ目は、運行のない時間帯をなくすこと。三つ目は、運行時間帯を拡げる(始発を早め、終発を遅らす)こと。四つ目は、向島ニュータウンと観月橋間(24号線)のバス停を1ヶ所を2ヶ所にすること。五つ目は、バス停「センター前」に屋根とイス

を整備することなどです。

住民の高齢化が急速に進む中、住民の日常生活を支える近鉄バスの運行改善は喫緊の課題です。この要望を早期に実現させるため、住環境・防犯WG「近鉄バス利便性向上推進グループ」で引き続き、取組が進められています。あわせて、近鉄バス利用者を増やす取組も進めます。ご協力をよろしくお願いします。



▲向島駅バス停留所の近鉄バス

近鉄バス「竹田駅～向島駅」路線の時刻表

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
近鉄 向島駅発(平日)	—	55	—	10	10	50	50	—	35	25	—	—
近鉄 向島駅発(土・休日)	—	—	—	5	5	5	5	5	5	5	—	—
地下鉄 竹田駅発(平日)	—	—	35	50	50	—	30	30	—	15	5	—
地下鉄 竹田駅発(土・休日)	—	—	—	45	45	45	45	45	45	45	—	—

※向島地域にお住まいで70歳以上の希望される方には、「京都市バス・京都市営地下鉄」と「近鉄バス」の「敬老乗車証」が交付され、伏見区の近鉄バス全路線で「敬老乗車証」が利用できます。

各学区社会福祉協議会の取組を紹介します

京都市の平均を上回って進む向島ニュータウンの高齢化。認知症を防止し、高齢者が元気に暮らせるまちをめざして、色々な取組が行われています。各学区の社会福祉協議会の取組を紹介します。

二の丸北学区社会福祉協議会

1998年6月に設立。昨年11月には20周年記念事業として伊勢バス旅行が行われました。毎月第一日曜日に「健康すこやか学級」が開催され、ひとり暮らしや寝たきり高齢者などを対象に「ふとん・毛布の丸洗い乾燥サービス」を年3回行っています。



2月3日二の丸北社協の「健康すこやか学級」

向島二ノ丸学区社会福祉協議会

2014年6月に設立。毎月第一日曜日に「カレー喫茶」が行われています。あわせて毎年「新春のつどい」「夏祭り」を開催。「すこやかサロン」が6月(6街区集会室)、9月(1街区集会室)、11月(5街区集会室)に行なわれています。



1月26日二ノ丸社協の「新春のつどい」

向島藤ノ木学区社会福祉協議会

しばらく活動を休止していましたが、2015年9月に再開。毎月第3火曜日に「健康すこやか学級」が、会場を「8・9街区集会所」「10街区集会所」「11街区集会所」を順に変え開催されています。地元の高齢者施設などから講師を呼んでいます。



2月19日藤ノ木社協の「健康すこやか学級」

※各社協の催し開催日は変更されることがあります。各棟エレベーターホールなどに掲示される案内で開催日を確認して下さい。